

## 資格別 進路比較一覧（高校生向け）

職種	必要な資格	主な仕事内容	活躍の場	開業の可否
医師	医師免許（国家資格）	病気・けがの診断と治療／手術／処方など	病院、診療所、大学、研究機関	◎可能 （医院・クリニック）
理学療法士（PT）	理学療法士（国家資格）	リハビリ（歩行・筋力・関節などの機能回復）	病院、リハビリ施設、介護施設、訪問	△不可 （原則医師の指示下）
柔道整復師	柔道整復師（国家資格）	打撲・捻挫・脱臼の手技治療（接骨院）	接骨院、整形外科、スポーツ現場	◎可能 （接骨院を開業可）
鍼灸師	はり師・きゅう師（国家資格）	鍼や灸による治療（慢性痛・肩こり・自律神経など）	鍼灸院、病院、スポーツ現場、美容	◎可能 （鍼灸院を開業可）
アスレチックトレーナー（AT）	民間資格（JATAC、JSPO-AT など）	スポーツ選手のケガ予防・リハビリ・コンディショニング	スポーツチーム、整形外科、学校現場	×不可 （医療系の国家資格ではない）

### ■ 医師

- 最も長い学習期間（医学部 6 年 + 国家試験）
- 治療の中心的存在
- 開業医として働くことも可能（内科・整形外科など）

## ■ 理学療法士

- 身体機能の回復を目指すリハビリ専門職
  - 運動療法や物理療法（温熱・電気など）で支援
  - 医師の指示のもとで治療を行うため、開業権はなし
- 

## ■ 柔道整復師

- 「接骨院の先生」として知られる
  - 手技中心で、骨折・脱臼・捻挫などを処置
  - 医師と違って薬や注射は使わない
  - 開業可：接骨院を個人で持てる
- 

## ■ 鍼灸師

- 「東洋医学」の考え方をもとに治療
  - 鍼（はり）や灸（きゅう）を使って、体の不調を整える
  - 美容鍼やスポーツ鍼灸などのニーズも増加中
  - 開業可：鍼灸院、美容サロン等で独立も可
-

## ■ アスレチックトレーナー

- スポーツ選手に特化した「けがの予防・応急処置・リハビリ」専門
- 国家資格ではないため、医療行為はできない
- 理学療法士・柔道整復師などと併せて資格を取得する人が多い
- スポーツ現場や教育現場での活躍が中心、開業は不可

### 進路の考え方

目指す方向性	おすすめの職種
医療の中心になりたい	医師
リハビリや高齢者支援がしたい	理学療法士・柔道整復師・鍼灸師
スポーツ選手や一般のケガの治療をしたい	理学療法士・柔道整復師・鍼灸師
トップアスリートの支えになりたい	アスレチックトレーナー（+柔整やPTと併用も◎）